

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合政策学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 2011年度に「国際開発協力プログラム」を策定し、2012年度から実施する。	→「国際開発協力プログラム」の策定・実施の有無。	C	B	B		
2. 2012年度に「英語コース」のプログラムを策定し、2013年度から実施する。	→「英語コース」プログラムの策定・実施の有無。	C	C	D		
3. 春学期に学科単位で学部生対象のシンポジウムを一回実施し、秋学期は一般公開のシンポジウムを一回実施する。	→シンポジウム実施の有無。	A	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	国際協力プログラムにかかわる認証制度を計画し、必要単位、科目等を委員会で審議した。
目標2	英語コースプログラムに入学が見込まれる高等学校等への聞き取り調査に基づき、予定する学生数確保が見込めないことが予想されるため取りやめを決定した。一方、代わるものとして、2013年度よりカリキュラムを改訂し学部3，4年次学生に向けた英語教育充実を図るための科目新設による実践的英語運用力の強化に取り組む。
目標3	春学期に連続公開講座『人・社会・自然のための情報とメディア』を実施し、1年次学生向けにキャリア形成セミナーを秋学期に2回実施した。（人と接するマナー、激動時代、時間の中身の作り方・学び方）
備考	